

食育だより



令和8年1月8日
大崎上島町立東野小学校

がつしょくいくもくひょう
《1月食育目標》

かんしゃ た
〇感謝して食べよう

わくわくセレクト給食

12月の献立表を見た子供たちが「わくわくセレクト給食って何かな?」と話をしていました。本校で初めての取り組みで12月23日に行いました。事前にAランチ(魚のホイル焼き)とBランチ(肉のホイル焼き)のどちらかと、デザートを選びました。児童は、料理を選ぶ楽しさや、今の自分をもっと元気にするために何を食べたらよいかを考え選びました。



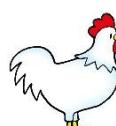
クレープがおいしかったです。



自分が選んだBランチが
おいしかったです。



デザートがあって
うれしいな。



セレクト給食は自分で選んだ
から楽しかったです。次もあった
らいいなと思いました。



そっちの味はどう?



ぼくは、Aランチを選
びました。理由は、たん
ぱく質が多く低カロリー
だからです。



がつ か にち ぜんごく がっこうきゅうしょくしゅうかん

1月24日～30日は全国学校給食週間

この一週間は給食の長い歴史を振り返って、給食の意義や役割について理解を深めようと設けられました。学校給食のよさを見直し、安全安心でおいしい給食が食べられることに感謝の気持ちをもつ機会にしましょう。



【学校給食の歴史】

明治22年 (1889年)	学校給食は、山形県の小学校でお弁当を持ってくることができない子供たちのために、お坊さんが昼ごはんを出したのが始まりとされています。そのころの給食は「おにぎりと鮭などの焼き魚と漬物」くらいでした。	
昭和16年ごろ (1941年)	戦争が始まり食べ物が不足してきたので、給食をすることができなくなりました。戦争が終わっても田畠は荒れて、食べ物はなく、子供たちはいつもおなかをすかせていました。	
昭和21年ごろ (1946年)	戦争が終わり、アメリカやユニセフなどから小麦粉や脱脂粉乳、缶詰などが日本へ送られ学校給食が再開されました。当時の給食は、脱脂粉乳を湯でといたミルクでした。	
昭和51年ごろ (1976年)	米飯給食が始まり、メニューも増えました。昭和56年ごろからビンに入った牛乳がパックに変わりました。	
現在	給食は時代とともにいろいろなメニューが登場しています。日本の食文化や郷土料理、旬の食材や地場産物の活用、また栄養バランスの大切さや食事マナーの習得など、教育活動として位置づけられています。	